

行政視察報告書

所属委員会 または会派名	議員有志	参加者 氏 名	近藤一美 藤森綾子 森山博美 牛山実弦 大津学 牛山正 伊藤浩平
行政視察名称	令和6年度諏訪市議会議員有志による行政視察		
視察期間	令和6年11月5日 午前10時～12時		
視察都市名	山梨県甲府市		

1.山梨県甲府市を視察した目的

北海道札幌市の視察において、具体的な運営方法や効果、課題、また仮想空間を活用することでの当事者や家族への心理的負担の軽減、支援を学んできた。甲府市は仮想空間が3Dメタバースであり当事者支援、家族支援、庁内および関係機関との連携、市民への普及啓発の4つの柱に基づく取り組みがされている。北海道の視察と合わせてさらに状況の把握や理解を深める。

2.視察地の概要（令和6年11月1日現在 下段は諏訪市）

住民基本 台帳人口	183,949人	住民基本 台帳世帯数	94,704世帯	面積	212.47km ²
	47,640人		22,613世帯		109.17km ²

甲府市は山梨県のほぼ中央に位置しており県都であり、山梨県の政治、経済、文化芸術の中心地である。人口は松本市の7割強である。

3.視察内容

甲府市健康支援センターにて保健衛生部生活衛生室精神保健課より説明を受けた。

1 当事者への支援

- ・ひきこもり状態にある方のための居場所づくりを NPO 法人に委託して行っている。
当事者が安心して通えるようにカフェ等を貸し切りするなど配慮して年 24 回開催。現在は 10 名登録。

1 回当たり 4,5 人が参加。

- ・メタバースを活用した相談支援
「心のよりどころ空間」市のひきこもり支援情報を 24 時間入手できる。
「森の相談ルーム」甲府市民を対象に週 1 回予約制で個別相談できる。
交流会を 6 月、9 月の 2 回行った。各 1 時間、3 名が参加。

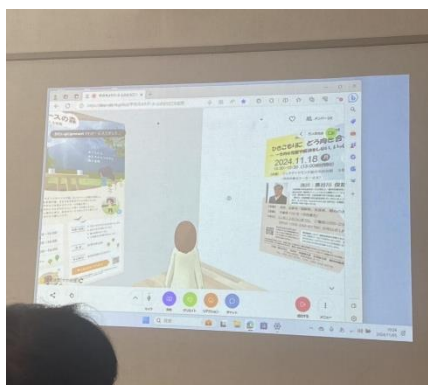


2 家族への支援

- ・家族のつらい「かたまり」の開催（年 5 回）家族教室の開催（年 1 回）

3 庁内・関係機関との連携

- ・年 1 回、ひきこもり支援の関係課が集まり、課題や支援の在り方を検討する会議を行っている。
- ・月 1 回、個別ケースの支援の対応状況や、支援方針の確認・検討の会議を行っている。
- ・定期的にひきこもり支援関係機関等の意見交換会も行っている。



4 市民への普及啓発

- ・市民講演会の開催。ひきこもりに関する理解を深めるための講演会を開催している。
- ・出前講座。地域からの依頼を受けて実施している。
- ・ひきこもりサポーター研修。地域で当事者や家族が孤立しないように、理解者（ひきこもりサポーター）を増やすための研修をしている。

4.委員会としての所感及び諏訪市に反映できると思われる点

甲府市の3D メタバースはとても見やすく、デザイン性もあり、細かな所まで仮想空間化されていた。相談は予約制で行われているので、相談する側、相談される側も負担が少ないと感じるので予約システムを諏訪市でも導入検討するべきと考える。

さらにメタバースを活用した技術は市役所業務、婚活、イベント運営など、幅広い分野での応用が期待できるので諏訪市でもメタバースの導入を検討する場合は甲府市のような3D にするべきと考える。